



キリン食生活文化研究所

2016年10月4日
レポート vol.60

～あなたのくらしのアンケート～ ふるさと納税

サマリー

最近話題の「ふるさと納税」。地方の活性化の有効策となるか？

Q.あなたは、「ふるさと納税」をしたことがありますか？

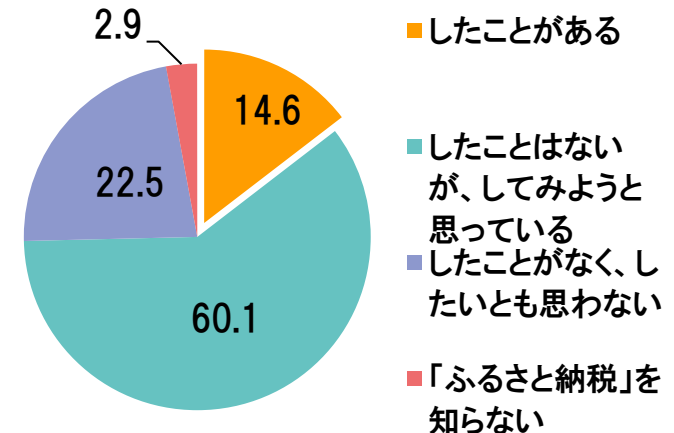
キリン食生活文化研究所は、「ふるさと納税」について調査を実施(2016年7月26日～8月2日、全国、ウェブ調査)、男女20～69歳 計13,940名の方の回答をまとめました。

「ふるさと納税をしたことがある」人は15%、「したことはないが、してみようと思っている」が60%と、あわせて3/4の方が、ふるさと納税に関心をもたれているようです。

ふるさと納税の実施理由・興味項目は、全体では「特典(返礼品)」、「税金控除」、「家計の助け」の順でした。実施者では「税金控除」が1位。未実施・意向者では、実施者よりも「困っている自治体を応援」、「ふるさとに貢献」など、地域活性化の項目が高い傾向が見られました。

ふるさと納税実施後には、「寄付先への興味が増した」、「寄付先に旅行で出かけたくなった」といった変化が見られます。特に、2013年以前に始めた人では「実際に旅行に出かけた」も15%に達し、ふるさと納税がきっかけで地域への関心が高まる様子がうかがえます。

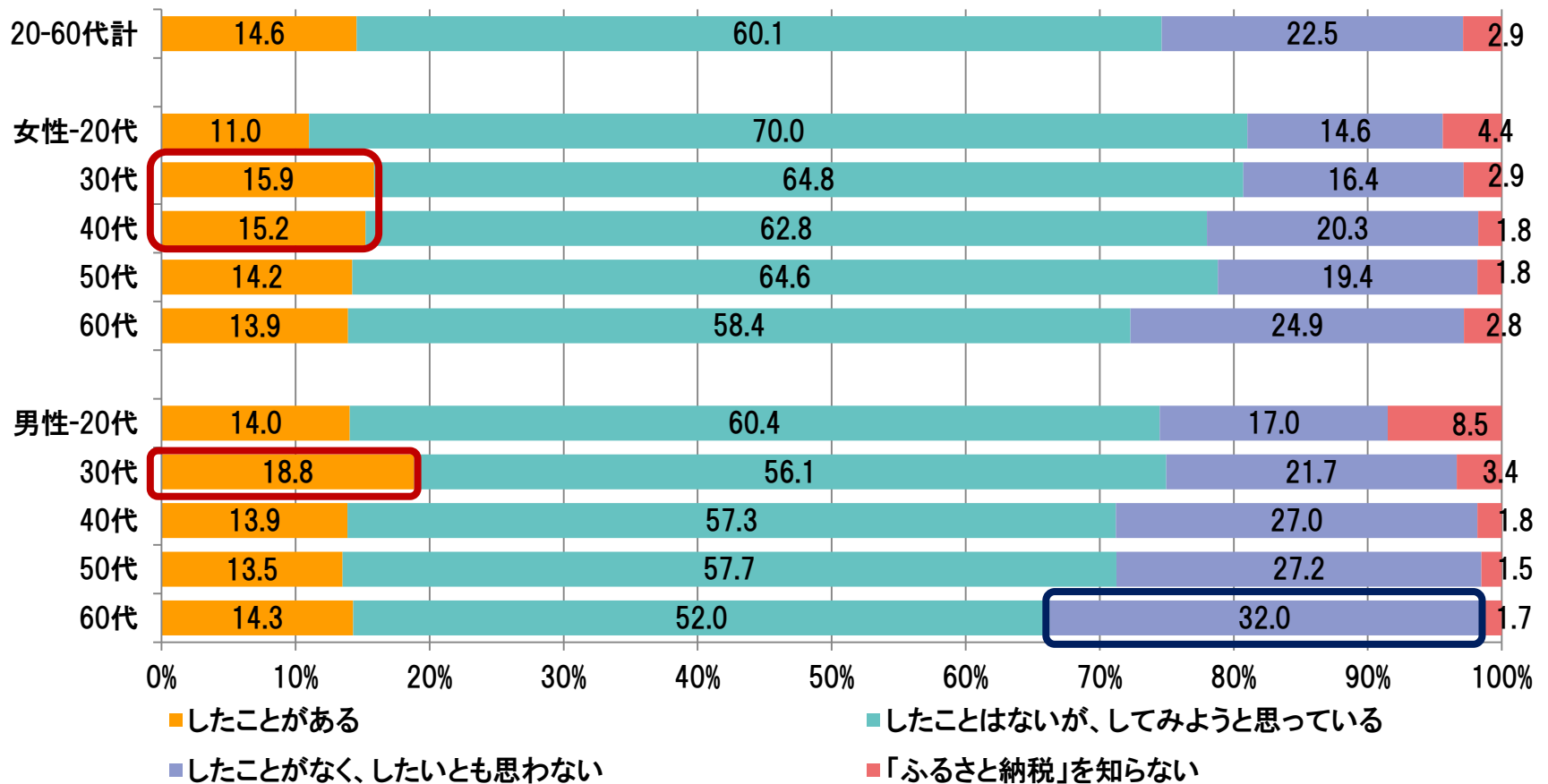
旅行や収穫体験などの、体験型特典も今後増えていきそうです。あなたもふるさと納税をやってみては？



Q.あなたは、「ふるさと納税」をしたことがありますか？

ふるさと納税の実施経験者は全体では15%。性・年代別に見ると、30代男性が19%と最も多く、30-40代女性も15%を超えた。「したことはないが、してみようと思っている」のは、20代女性が70%と最も多い。一方「したいと思わない」のは60代男性が32%と多い。ふるさと納税への興味は、若年層ほど高いようだ。

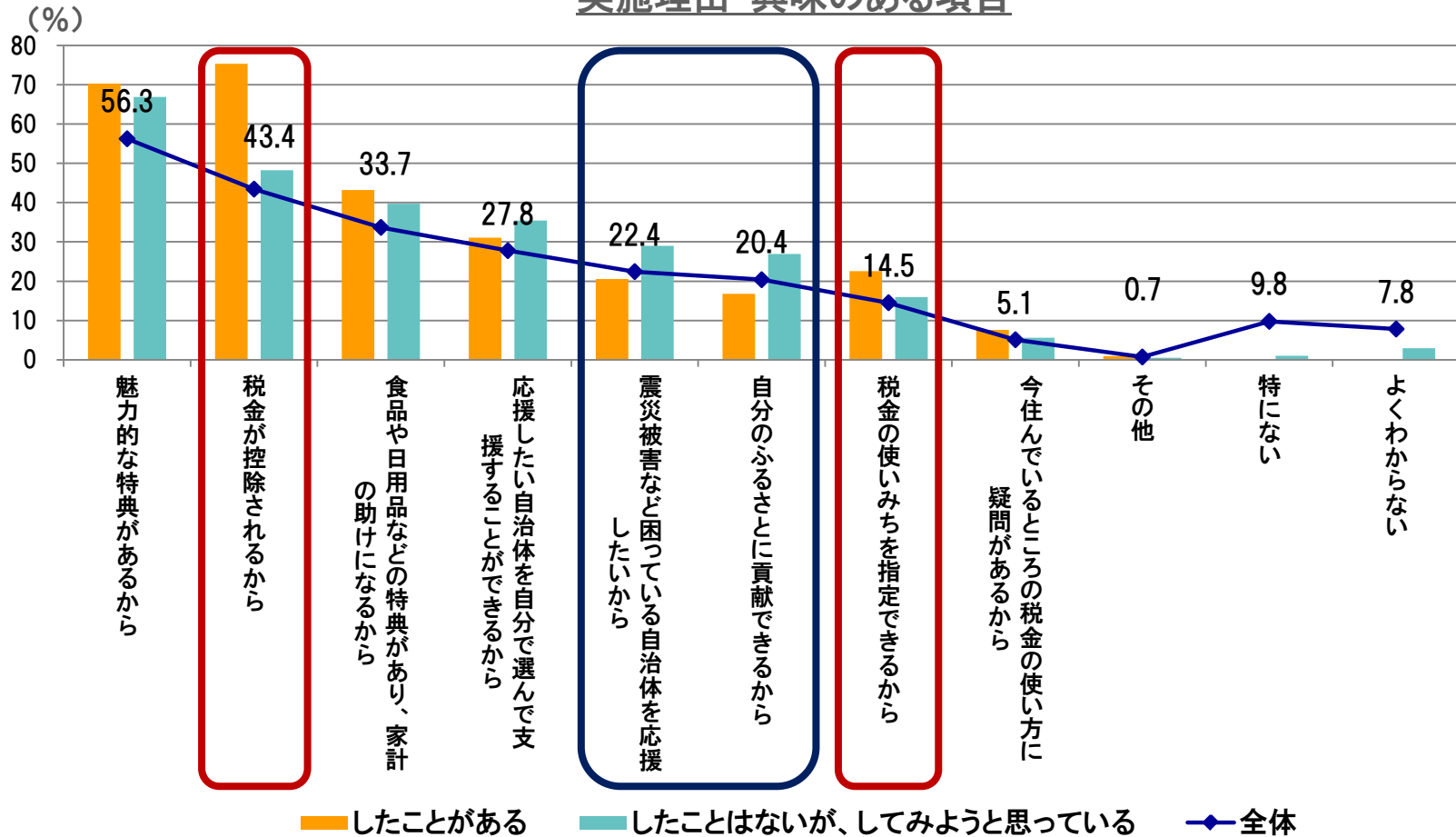
「ふるさと納税」実施・実施意向の有無



Q. 「ふるさと納税」をしようと思った理由、興味のある項目

ふるさと納税の実施理由(実施者)・興味項目(未実施者)は、全体では「特典(返礼品)」、「税金控除」、「家計の助け」の順。実施者では税金控除が1位で、「税金の使いみちを指定できる」も高め。未実施・意向者では、実施者よりも「困っている自治体を応援」、「ふるさとに貢献」など、地域活性化の項目が高い。

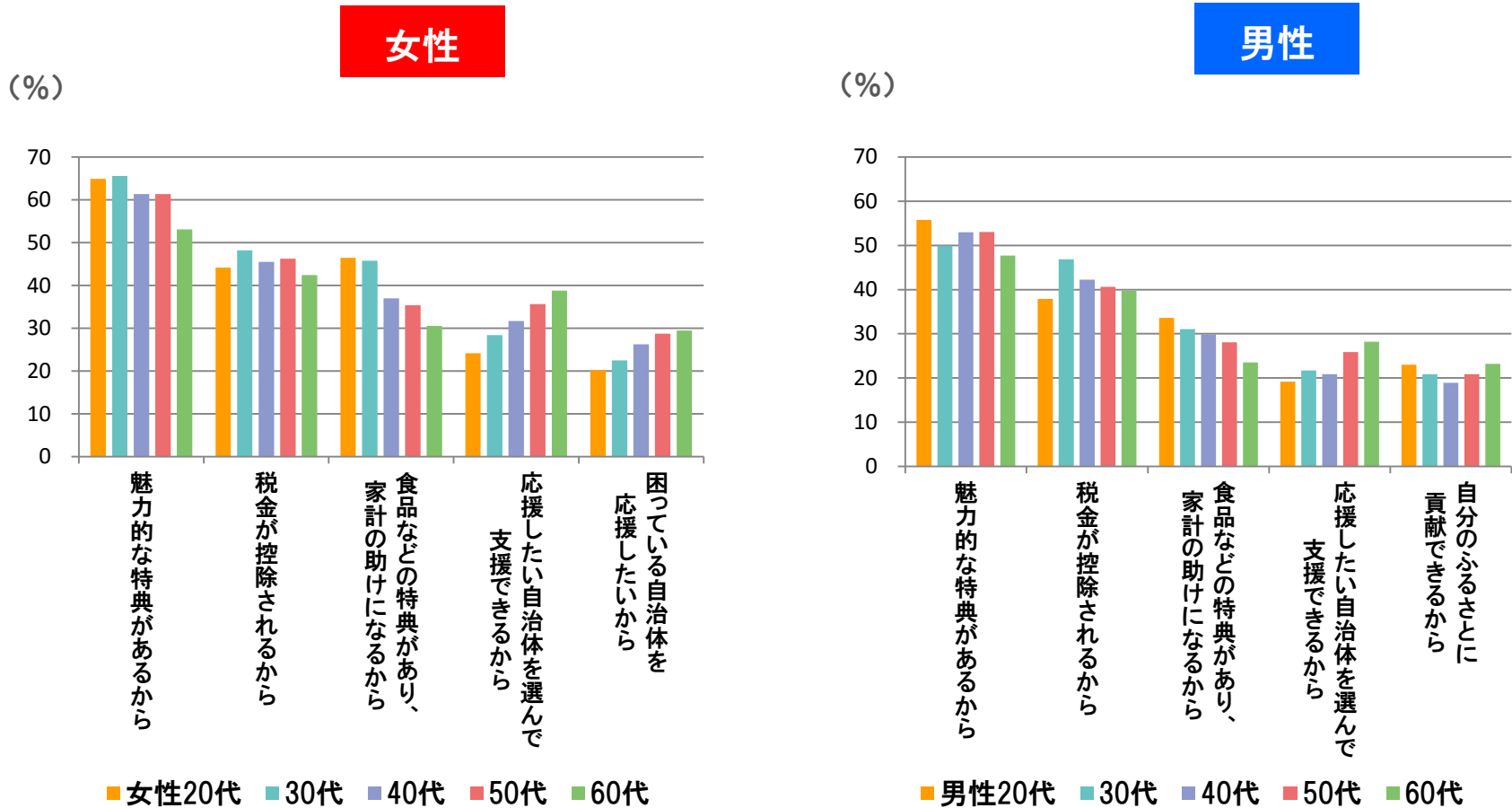
実施理由・興味のある項目



Q. 「ふるさと納税」をしようと思った理由、興味のある項目（性・年代別）

実施理由・興味のある項目の男女それぞれトップ5の回答を年代別に見た。4位までは男女同じで、5位は女性では「困っている自治体を応援したい」、男性では「自分のふるさとに貢献できる」が入った。特典関連の項目は若年層ほど高く、自治体支援は年長ほど高い。税金控除は年代による差が小さい。

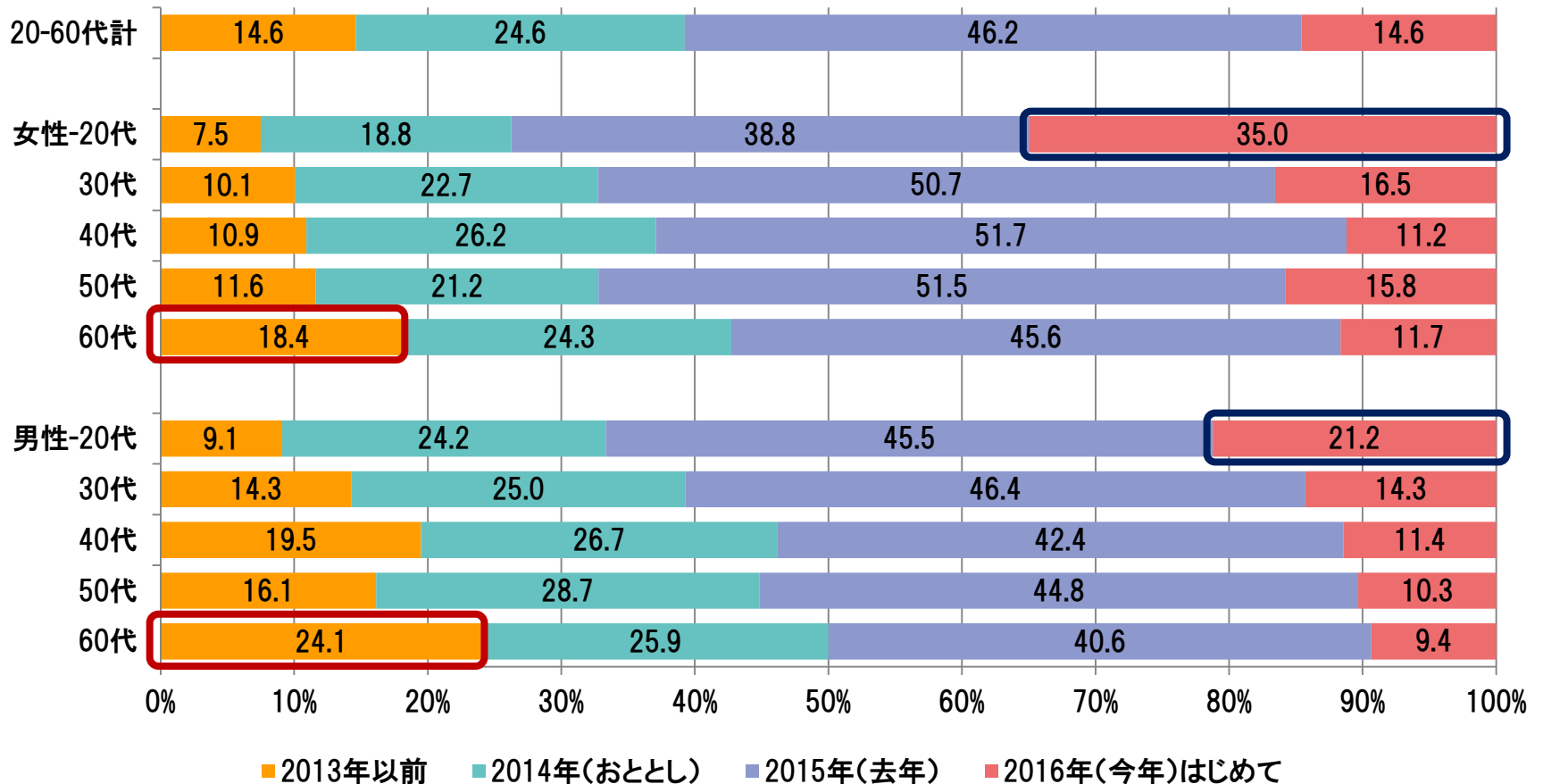
実施理由・興味のある項目



Q. 「ふるさと納税」をはじめたのはいつですか？

はじめてふるさと納税をした時期は、全体では「去年」が46%と最も多い。次いで「おとし」の25%。「2013年以前」と答えたのは、男女とも60代が多い。一方、「今年をはじめて」は、20代女性で35%、20代男性で21%と若年層で高くなっており、最近になって若年層での興味が高くなってきた様子がうかがえる。

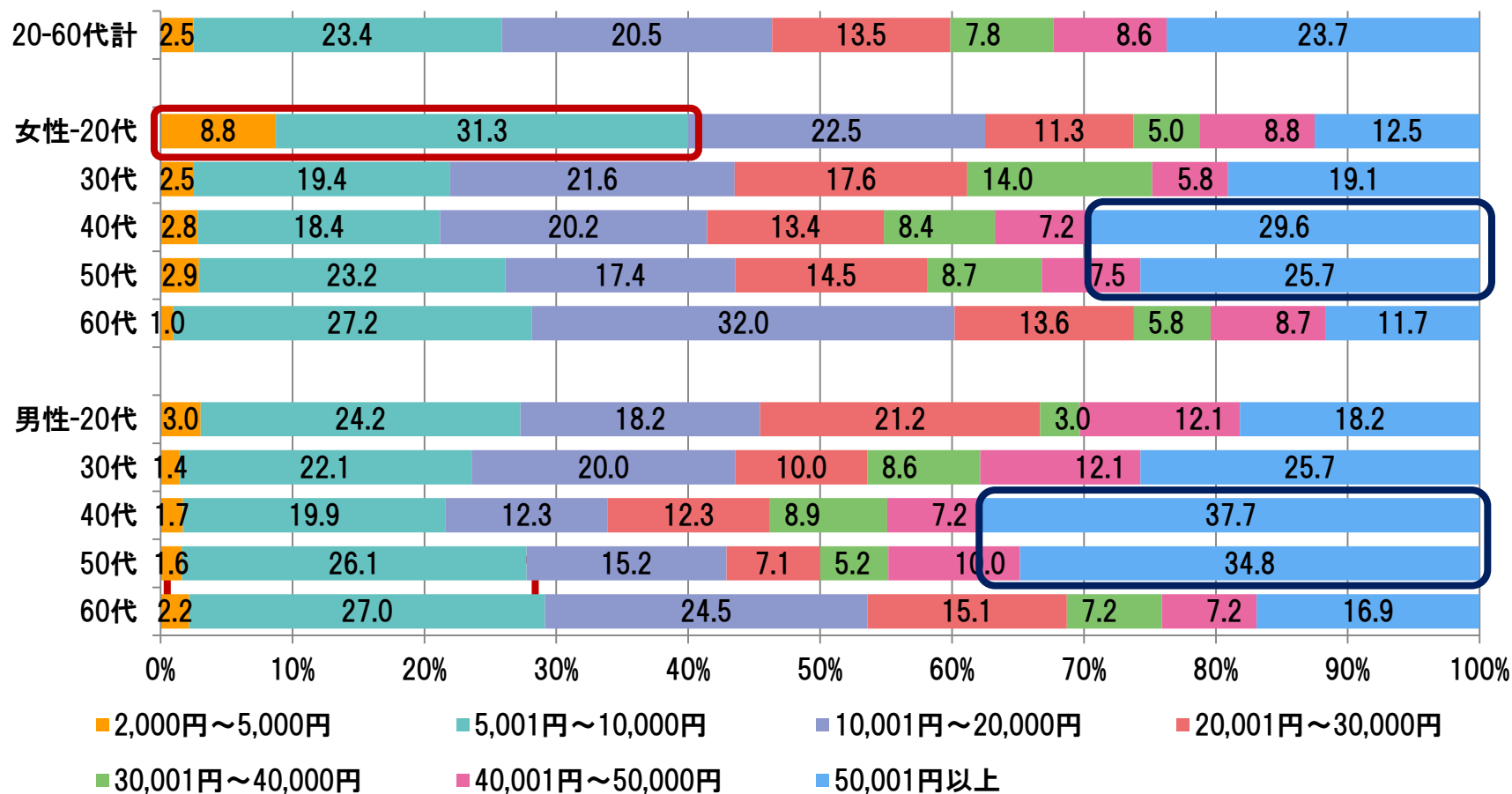
はじめて実施した時期(ふるさと納税実施者:2,030人)



Q.直近の「ふるさと納税」は、総額でいくらしましたか？

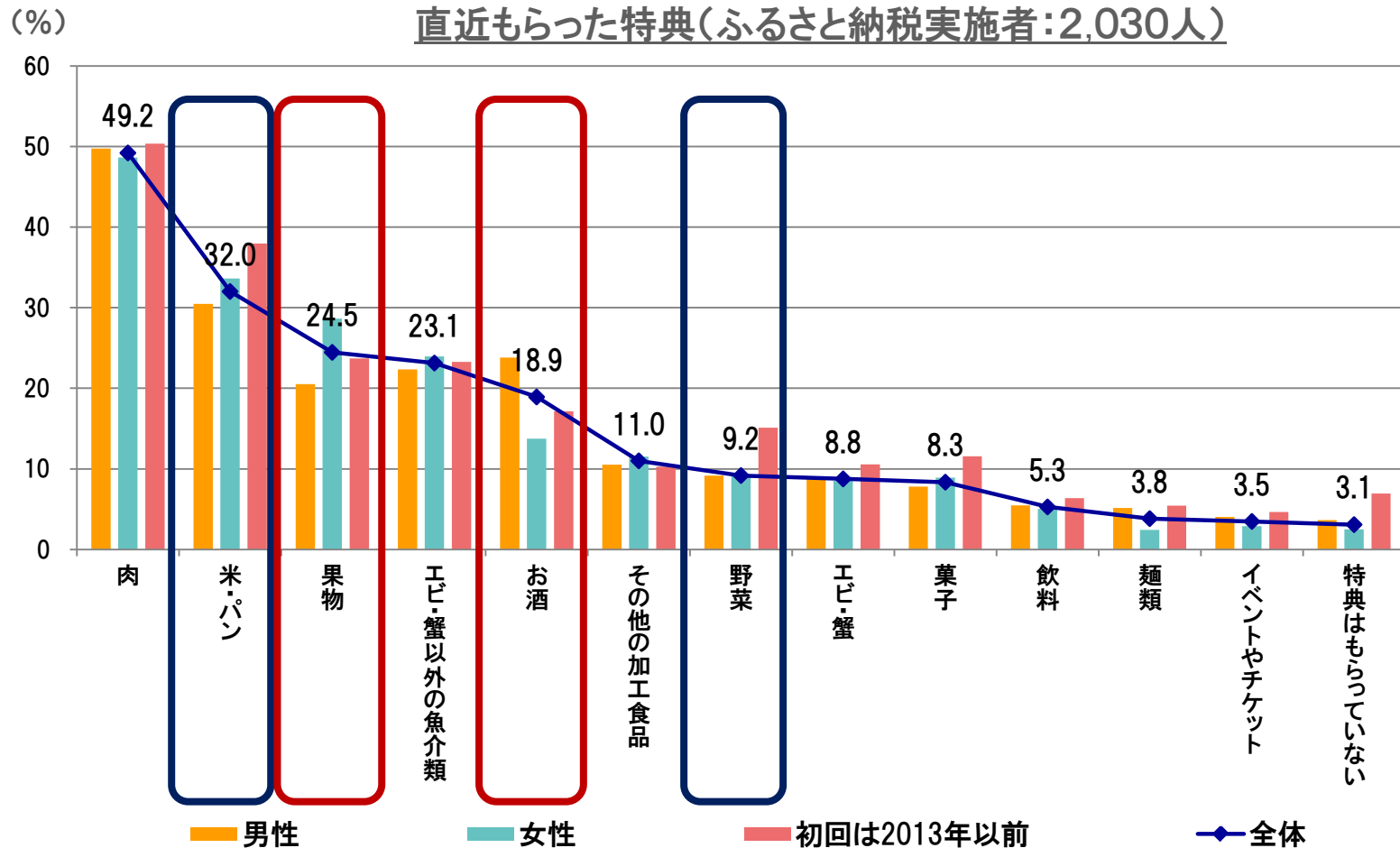
ふるさと納税の実施額は、最も多いのが「5千円超～1万円」(23%)で、次が「1万円超～2万円」(20%)。「5万円超」をまとめると24%となる。男女40・50代の実施額が多く、「10万円超」は男性40代で8%、男性50代で15%、女性50代で12%と多い。一方20代女性は4割が「1万円以下」。

直近の実施総額(ふるさと納税実施者:2,030人)



Q.直近の「ふるさと納税」で、どんな特典をもらいましたか？

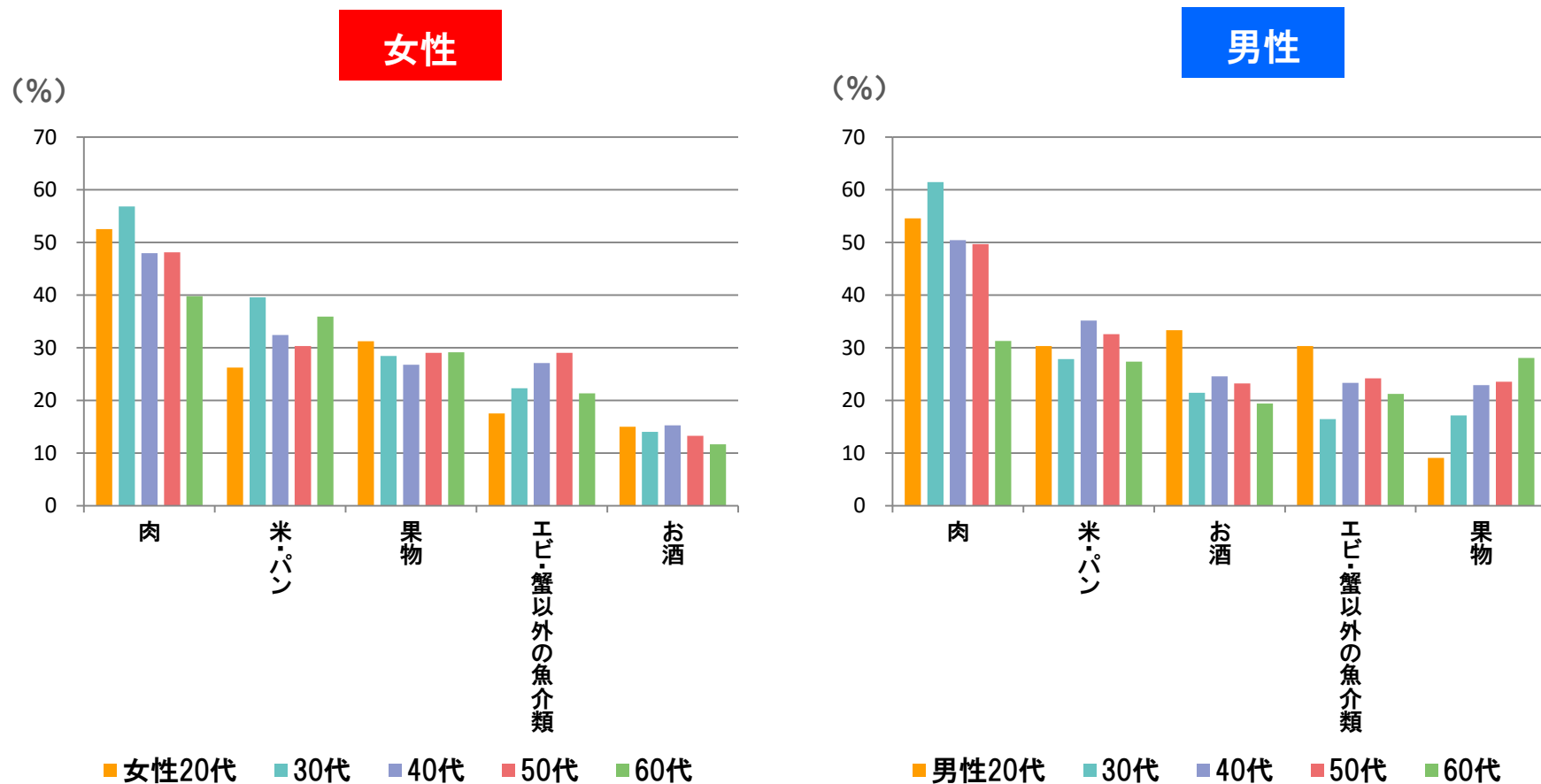
もらった特典は「肉」(49%)、「米・パン」(32%)、「果物」(24%)、「魚介類」(23%)、「お酒」(19%)の順。「果物」は女性で、「お酒」は男性が多かった。初回が2013年以前の人では「米・パン」や「野菜」が際立っており、ふるさと納税の特典を日常生活に活かしている様子がうかがえる。



Q.直近の「ふるさと納税」で、どんな特典をもらいましたか？（性・年代別）

ふるさと納税の特典トップ5の回答を年代別に見た。項目は男女で同じだが、3位は女性では「果物」、男性では「お酒」と入れ替わった。年代別には、「肉」は30代を中心に若年層で高く、「魚介類」は40・50代が中心。20代男性も高い。「お酒」も20代男性が突出。グラフにはないが「飲料」は男女20代で高め。

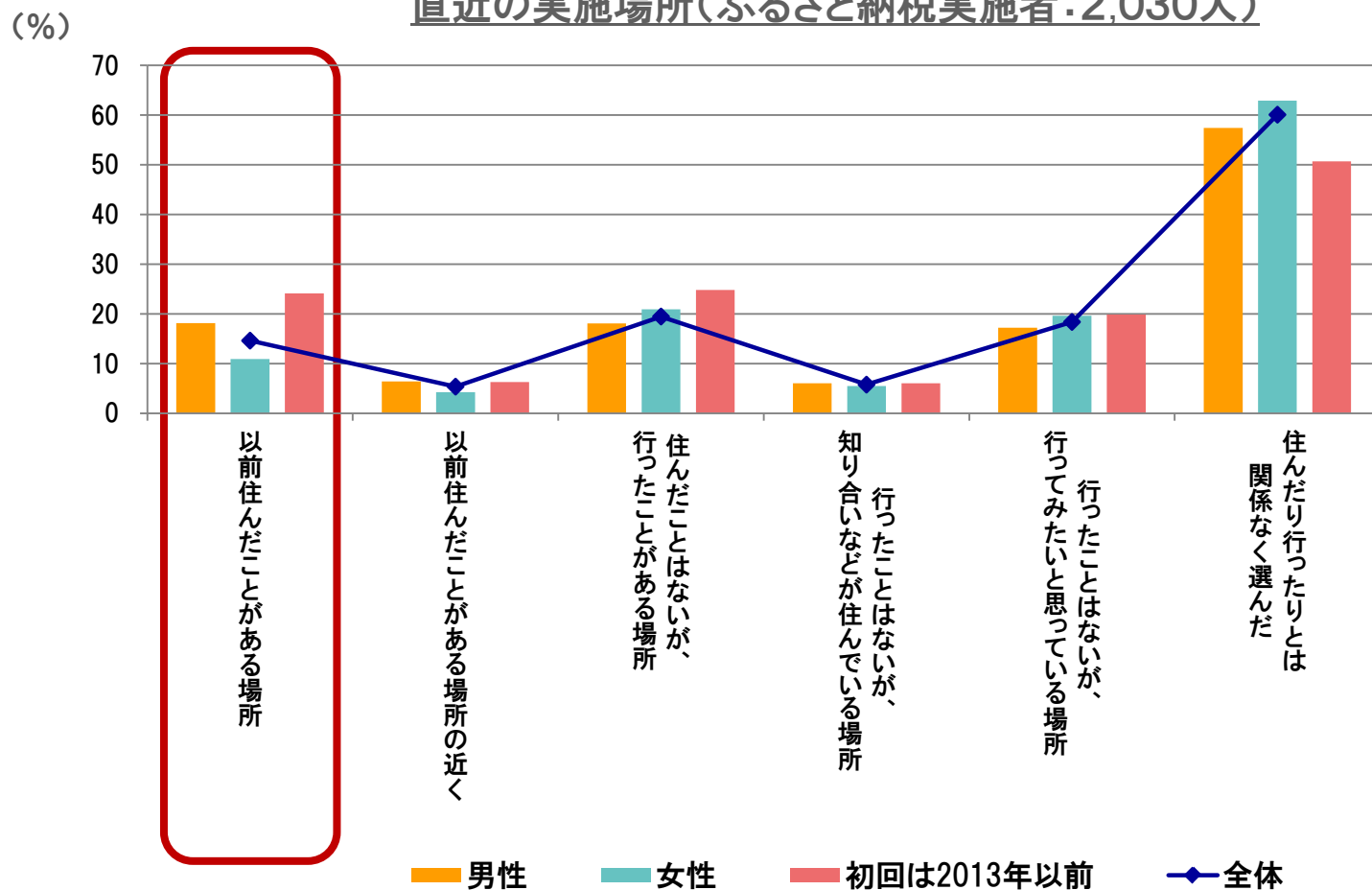
直近もらった特典(ふるさと納税実施者:2,030人)



Q.直近の「ふるさと納税」は、どんな場所にしましたか？

ふるさと納税をした場所は、「住んだり行ったりとは関係なく選んだ」が6割と最も高く、「住んだことはないが行ったことのある場所」と「行ったことはないが行ってみたい場所」が2割弱で続く。本来の「ふるさと」納税とも言える「以前住んだことがある場所」は、女性に比べて男性で、また初回が2013年以前の人で高め。

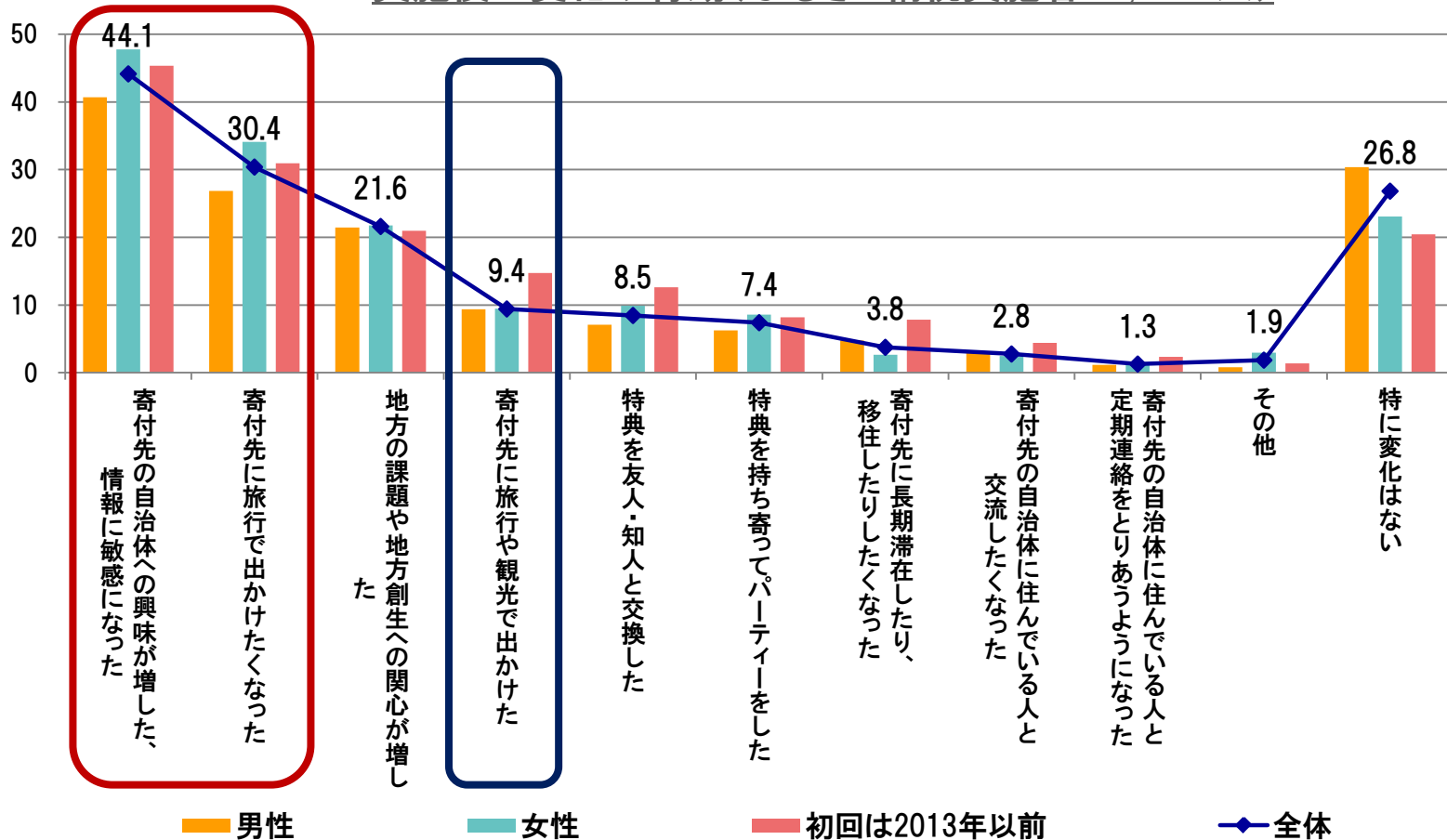
直近の実施場所(ふるさと納税実施者:2,030人)



Q.「ふるさと納税」後に起こった変化や、実際したことは？

ふるさと納税実施後、「寄付先への興味が増した」が44%、「寄付先に旅行で出かけたくなくなった」が30%。いずれも男性より女性で高い。初回が2013年以前の人では「実際に旅行に出かけた」も15%に達する。グラフにはないが、「特典を友人と交換」は30代女性で、「特典持ち寄りパーティ」は20代男女で高い。

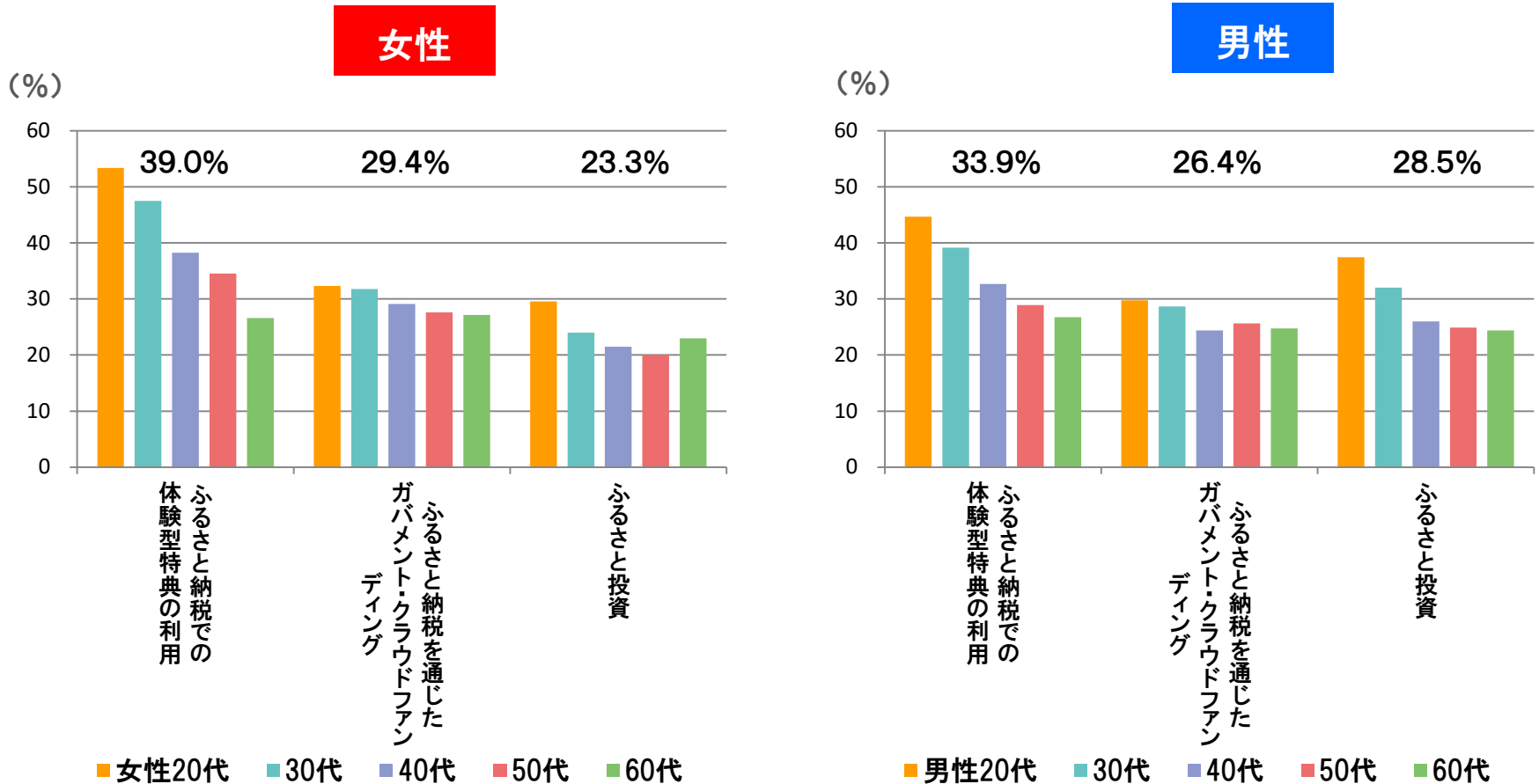
実施後の変化や行動(ふるさと納税実施者:2,030人)



Q.「ふるさと納税」に関連して、実施したり実施してみたいことは？

旅行などの「体験型特典」、自治体の課題解決に寄付する「ガバメント・クラウドファンディング」、地域活性化のための「ふるさと投資」について聞き、「実施したことがある」と「実施してみたい」を合わせた結果をグラフ化した。「体験型特典」は若年層を中心に実施意向が高い。男性若年層は「ふるさと投資」への関心も高い。

実施経験・実施意向



Q.利用したい「体験型の特典」は？（自由回答）

利用したい「体験型の特典」の自由回答からピックアップした。温泉や祭りへの参加、収穫体験、子供と一緒に楽しめる体験が多く挙げられた。その場所でしかできない体験や、現地の人との交流を挙げる人も目立った。

利用したい体験型特典（自由回答）

子供が自然を満喫できる体験。(40代男性)

子供の教育

農作業や畜産の体験型があれば、娘の教育にもなる。(30代女性)

普段できないビール作りなど。(20代男性)

空き家をDIYで自由に改装。(50代男性)

普段できないこと
特別な体験

その土地でしかできない、納税者限定のプレミアムツアー。(20代女性)

星空を眺める銀河ツアーや普段入れない夜の城ツアーなど非日常体験。(40代女性)

動物園の裏側などの見学。(20代女性)

田舎の暮らし体験宿泊プラン。(20代男性)

現地に住む可能性があるときの疑似体験(2週間くらい)。(30代男性)

地元の生活体験

民泊で、帰省した家族のように迎えて地のものを食べさせてもらって、畑仕事のお手伝いをしたりとか、地元のような生活を体験したい。(30代女性)

地元ならではの祭りや、神輿作りの手伝いや、屋台の売り手の手伝い。(40代男性)

地域河川の清掃作業の後、バーベキュー大会。(50代男性)

地元の人と交流

現地の方の案内で自然散策。(40代女性)

農作物の収穫から食卓までの過程や、地域の人と特産品の調理実習。(40代女性)